



## 2020年度 期末連結決算

## 新型コロナウイルスの影響により、大幅な減収・減益

関西エアポート株式会社は、2020年4月から2021年3月までの第6期会計年度連結決算において、営業収益は572億円、営業損益は428億円の損失、経常損益は520億円の損失、当期純損益\*は345億円の損失を計上しました。

当期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前期と比較すると、営業収益は73%の減少となりました。人件費を含む費用の削減に取り組みましたが、固定的費用の負担が大きく、営業損益では前期比952億円の減益、経常損益では932億円の減益、当期純損益では680億円の減益となりました。

(連結損益計算書)

(単位：億円)

	2019.4-2020.3	2020.4-2021.3	増減	%
営業収益	2,158	572	(1,586)	-73%
外部費用	(1,228)	(583)	644	-52%
EBITDA	930	(11)	(941)	-
減価償却費	(406)	(417)	(11)	+3%
営業損益	524	(428)	(952)	-
経常損益	412	(520)	(932)	-
当期純損益*	335	(345)	(680)	-

\* 「当期純損益」は、「当社株主に帰属する当期純損益」を記載しています。

(航空需要の状況)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、旅客便を中心に減便・運休が相次いだことから、3空港合わせた航空機発着回数は16.2万回、航空旅客数は928万人と、前年と比べそれぞれ56%減、81%減となりました。特に、国際線につきましては、各国および日本政府の出入国制限が拡大・継続したこともあり、国際線旅客数は前年の1%に満たない大変厳しい状況となりました。国内線につきましても、緊急事態宣言発令、移動自粛等が影響し、Go to トラベル事業による一時的な回復があったものの、3空港とも前年を大きく下回る結果となりました。一方、旅客便運休による貨物スペースのひっ迫により、貨物便は増加しました。

	2019.4-2020.3	2020.4-2021.3	増減	増減率
航空機発着回数（万回）	36.6	16.2	(20.4)	-56%
関西国際空港	19.6	5.8	(13.8)	-71%
大阪国際空港	13.7	8.1	(5.6)	-41%
神戸空港	3.3	2.3	(1.0)	-29%
航空旅客数（万人）	4,782	928	(3,854)	-81%
関西国際空港	2,877	226	(2,651)	-92%
大阪国際空港	1,577	581	(995)	-63%
神戸空港	329	121	(208)	-63%

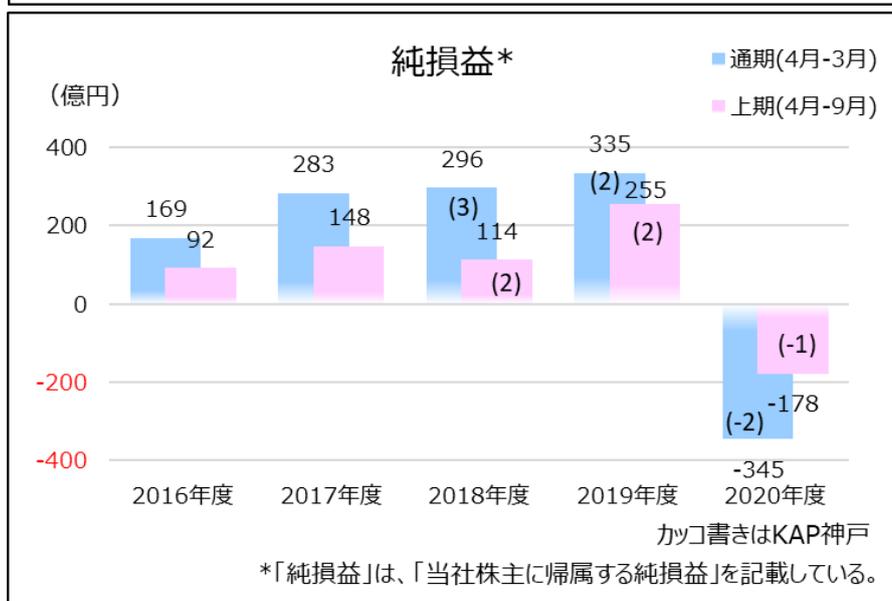
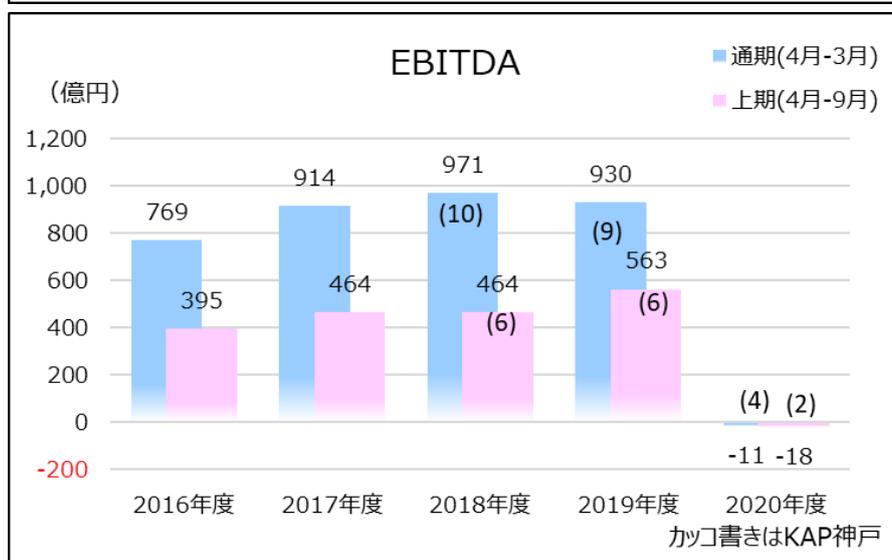
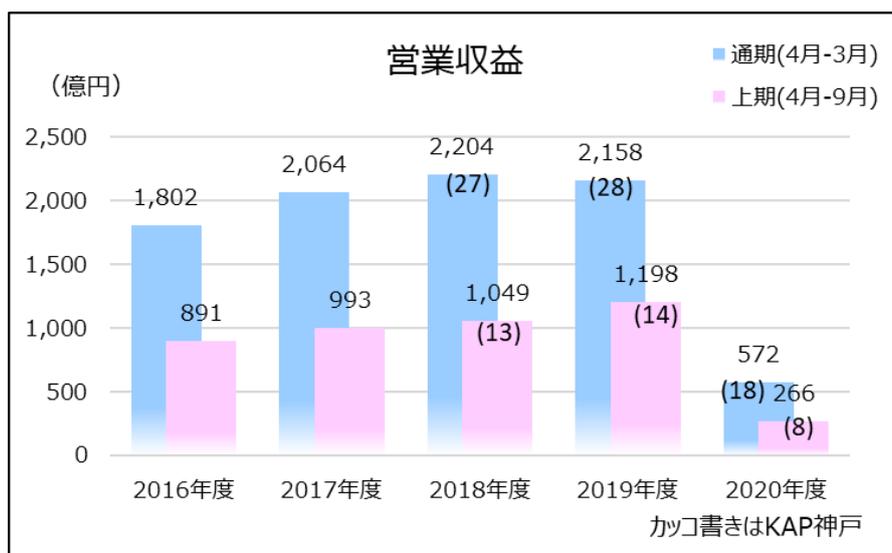
(連結貸借対照表)

2021年3月31日現在における財政状態は、前期末と比べると、現金支出の抑制に努めましたが、新型コロナウイルスの影響による営業キャッシュフローの減少により、現金及び預金が減少し、資産合計は1兆6,859億円となりました。また、公共施設等運営権の支払いなどにより、負債が減少した結果、負債合計は1兆6,105億円となりました。

(単位：億円)

	2020.3.31 現在	2021.3.31 現在	増減
流動資産	1,690	1,210	(480)
固定資産	15,635	15,649	14
<b>資産合計</b>	<b>17,325</b>	<b>16,859</b>	<b>(466)</b>
流動負債	799	803	4
固定負債	15,431	15,302	(128)
<b>負債合計</b>	<b>16,230</b>	<b>16,105</b>	<b>(124)</b>
株主資本	1,087	742	(345)
その他の包括利益累計額	(6)	(5)	1
非支配株主持分	15	17	2
<b>純資産合計</b>	<b>1,096</b>	<b>754</b>	<b>(342)</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>17,325</b>	<b>16,859</b>	<b>(466)</b>

(参考資料) 連結決算の推移



**【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】**

関西エアポート株式会社  
 グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション  
 Tel : 072-455-2201

## 連 結 損 益 計 算 書

〔 自 2020 年 4 月 1 日  
至 2021 年 3 月 31 日 〕

(単位：百万円)

営業収益		57,214
営業原価		87,098
営業総損失		29,884
販売費及び一般管理費		12,928
営業損失		42,812
営業外収益		4,446
受取利息及び配当金	569	
雇用調整助成金	3,485	
その他の営業外収益	391	
営業外費用		13,643
支払利息	11,861	
支払手数料	1,637	
持分法による投資損失	56	
その他の営業外費用	87	
経常損失		52,009
特別利益		7,667
固定資産売却益	5	
投資有価証券売却益	30	
補助金収入	1,794	
災害に伴う受取保険金	5,836	
特別損失		5,088
固定資産除却損	151	
固定資産売却損	2	
固定資産圧縮損	1,871	
更新投資に伴う撤去費用	2,595	
災害による損失	134	
災害損失引当金繰入額	△ 34	
商品評価損等	366	
税金等調整前当期純損失		49,430
法人税、住民税及び事業税	502	
法人税等調整額	△ 15,634	
当期純損失		34,298
非支配株主に帰属する当期純利益		200
親会社株主に帰属する当期純損失		34,498

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)

# 連結貸借対照表

〔2021年3月31日現在〕

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>流 動 資 産</b>	<b>121,007</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>80,322</b>
現金及び預金	92,788	買掛金	155
売掛金	6,889	未払金	29,898
商品	4,486	未払費用	2,889
原材料及び貯蔵品	1,313	1年内返済予定の長期借入金	3,881
1年内回収予定の差入保証金	2,221	1年内支払予定の公共施設等運営権に係る負債	29,965
未収金	5,187	未払法人税等	7,566
その他	8,172	賞与引当金	1,026
貸倒引当金	△ 52	ポイント引当金	70
		その他	4,511
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,564,924</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>1,530,226</b>
有形固定資産	55,309	社債	4,860
建物及び構築物	3,870	長期借入金	178,124
機械装置及び運搬具	10,206	公共施設等運営権に係る負債	1,282,350
工具器具備品	7,689	特別修繕引当金	48,770
土地	603	災害損失引当金	655
建設仮勘定	32,813	退職給付に係る負債	5,168
その他	126	その他	10,297
無形固定資産	1,391,793		
公共施設等運営権	1,347,567		
更新投資に係る資産	42,206	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,610,549</b>
その他	2,019	<b>純 資 産 の 部</b>	
投資その他の資産	117,821	株主資本	74,195
投資有価証券	1,172	資本金	25,000
退職給付に係る資産	315	資本剰余金	25,000
差入保証金	92,797	利益剰余金	24,195
繰延税金資産	23,399	その他の包括利益累計額	△ 528
その他	412	繰延ヘッジ損益	△ 528
貸倒引当金	△ 274	非支配株主持分	1,714
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>75,382</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,685,931</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>1,685,931</b>

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界31カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において45空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

# 2020年度 期末連結決算

2021.06.03

Shaping a New Journey



# アジェンダ

- 2020年度 期末連結決算の概要
- 営業収益分析
- 2020年度の取り組み
- 質疑応答





# 2020年度 期末連結決算の概要

# 新型コロナウイルスの影響により、大幅な減収・減益

【単位：億円】

1. 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、旅客便を中心に減便・運休が相次ぎ、発着回数・旅客数は大幅減少。特に国際線旅客数は前年の1%に満たない厳しい状況。

2. 発着回数・旅客数の減少を受け、前年と比べ大幅な減収。

3. 人件費を含む費用の削減に取り組むも、固定的費用の負担が大きく、大幅な減益。

	2019.4-2020.3	2020.4-2021.3	増減	%
営業収益	2,158	572	(1,586)	-73%
EBITDA	930	(11)	(941)	-
営業損益	524	(428)	(952)	-
経常損益	412	(520)	(932)	-
当期純損益*	335	(345)	(680)	-

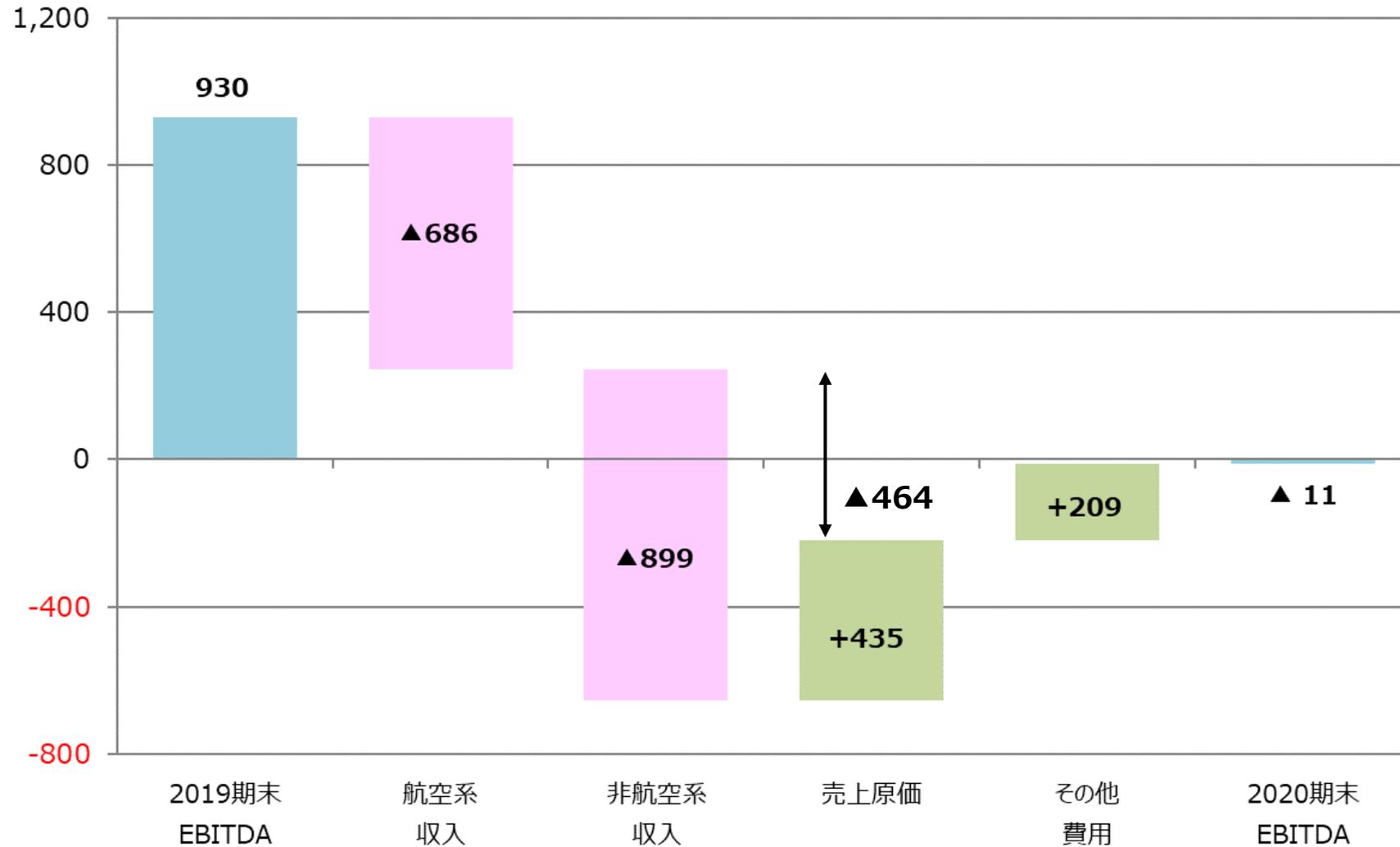
# 経営成績

【単位：億円】

	2019.4-2020.3	2020.4-2021.3	差額	%	うち 台風影響額
営業収益	2,158	572	(1,586)	-73%	
航空系	893	207	(686)	-77%	
非航空系	1,264	365	(899)	-71%	
営業費用（減価償却費除く）	(1,228)	(583)	644	-52%	
EBITDA	930	(11)	(941)	-	
減価償却費	(406)	(417)	(11)	+3%	
営業損益	524	(428)	(952)	-	
営業外損益	(112)	(92)	20	-	
経常損益	412	(520)	(932)	-	
特別損益	74	26	(49)	-65%	(34)
法人税等、非支配株主帰属損益	(152)	149	301	-	10
当期純損益*	335	(345)	(680)	-	(24)

# EBITDA (前年比)

【単位：億円】



# バランスシート

【単位：億円】

公共施設等  
運営権等

公共施設等  
運営権に係る負債等

	2020.3.31現在	2021.3.31現在	増減
流動資産	1,690	1,210	(480)
うち 現金及び預金	1,280	928	(352)
固定資産	15,635	15,649	14
資産合計	17,325	16,859	(466)
流動負債	799	803	4
固定負債	15,431	15,302	(128)
負債合計	16,230	16,105	(124)
株主資本	1,087	742	(345)
その他の包括利益累計額	(6)	(5)	1
非支配株主持分	15	17	2
純資産合計	1,096	754	(342)
負債・純資産合計	17,325	16,859	(466)
【参考】			
有利子負債残高	1,709	1,869	160



# 營業收益分析

## 【航空系】新型コロナウイルスの影響により、発着回数・旅客数ともに前年を大きく下回った

### → 発着回数

新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響を受け、3空港合計の発着回数は前年比56%減、旅客数は81%減。

### → 国際旅客便・国際貨物便

人の往来が厳しく制限された影響で、当期間中は旅客便の運航便数・旅客数ともに大きな回復には至らなかった。一方で、旅客便の減便による貨物輸送キャパシティの不足を補うため、国際貨物便の運航は大幅に増加した。

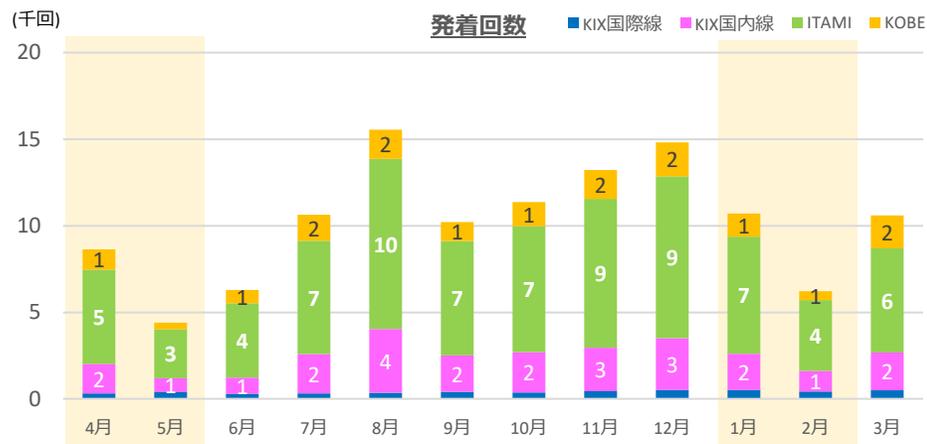
### → 3空港国内旅客便

年度を通じて新型コロナウイルスの国内感染拡大と移動自粛の影響を大きく受け、3空港の発着回数・旅客数は前年を大きく下回った。緊急事態宣言解除やGO TO TRAVEL事業により需要が盛り上がる時期はあったものの、コロナ前の需要までには十分に回復しきらず、3空港合計の旅客数は前年比約65%減となった。

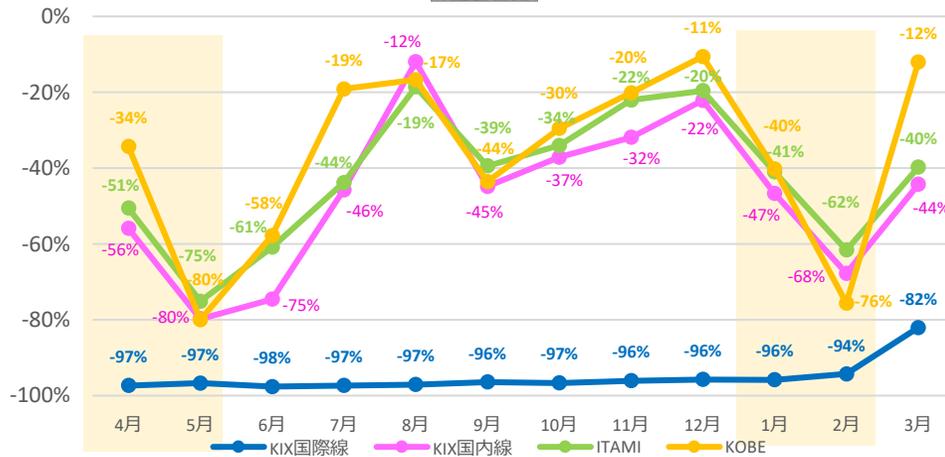
	2019年度	2020年度	増減	%
<b>発着回数 (万回)</b>	<b>36.6</b>	<b>16.2</b>	<b>(20.4)</b>	<b>-56%</b>
関西国際空港	19.6	5.8	(13.8)	-71%
大阪国際空港	13.7	8.1	(5.6)	-41%
神戸空港	3.3	2.3	(1)	-29%
<b>航空旅客数 (万人)</b>	<b>4,782</b>	<b>928</b>	<b>(3,854)</b>	<b>-81%</b>
関西国際空港	2,877	226	(2,651)	-92%
国際線	2,206	21	(2,186)	-99.1%
日本人旅客	717	7	(709)	-99.0%
外国人旅客	1,469	13	(1,456)	-99.1%
国内線	671	205	(465)	-69%
大阪国際空港	1,577	581	(995)	-63%
神戸空港	329	121	(208)	-63%

# 【航空系】 関西3空港 発着回数

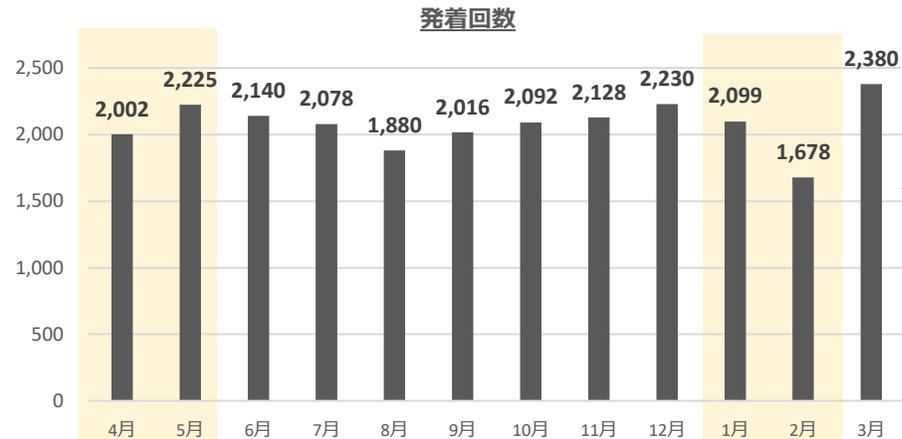
## 旅客便



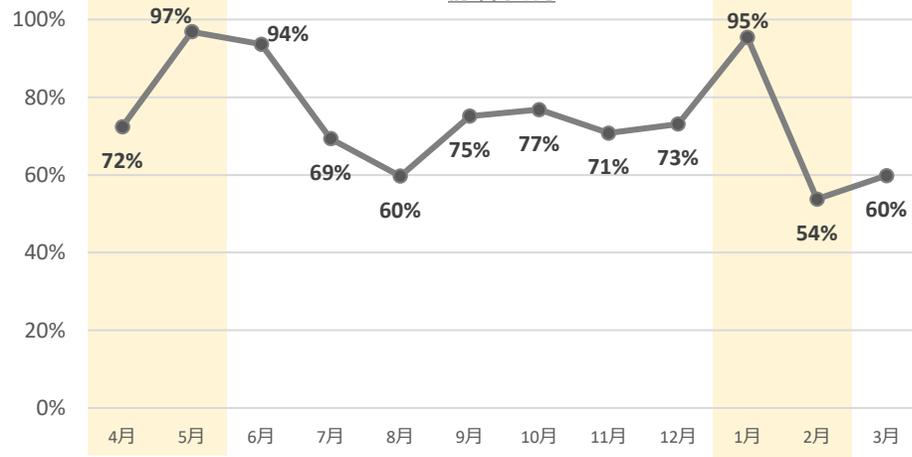
## 前年同月比



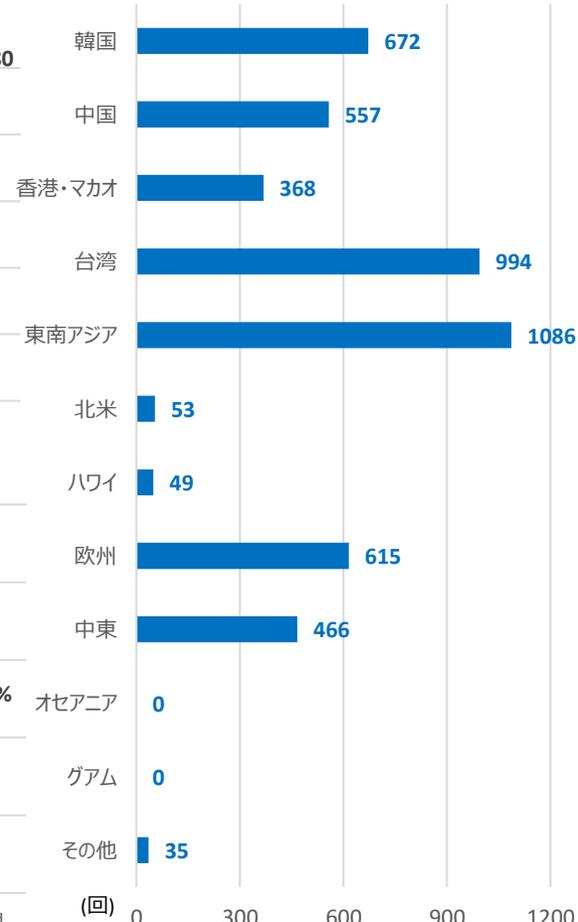
## 国際貨物便



## 前年同月比



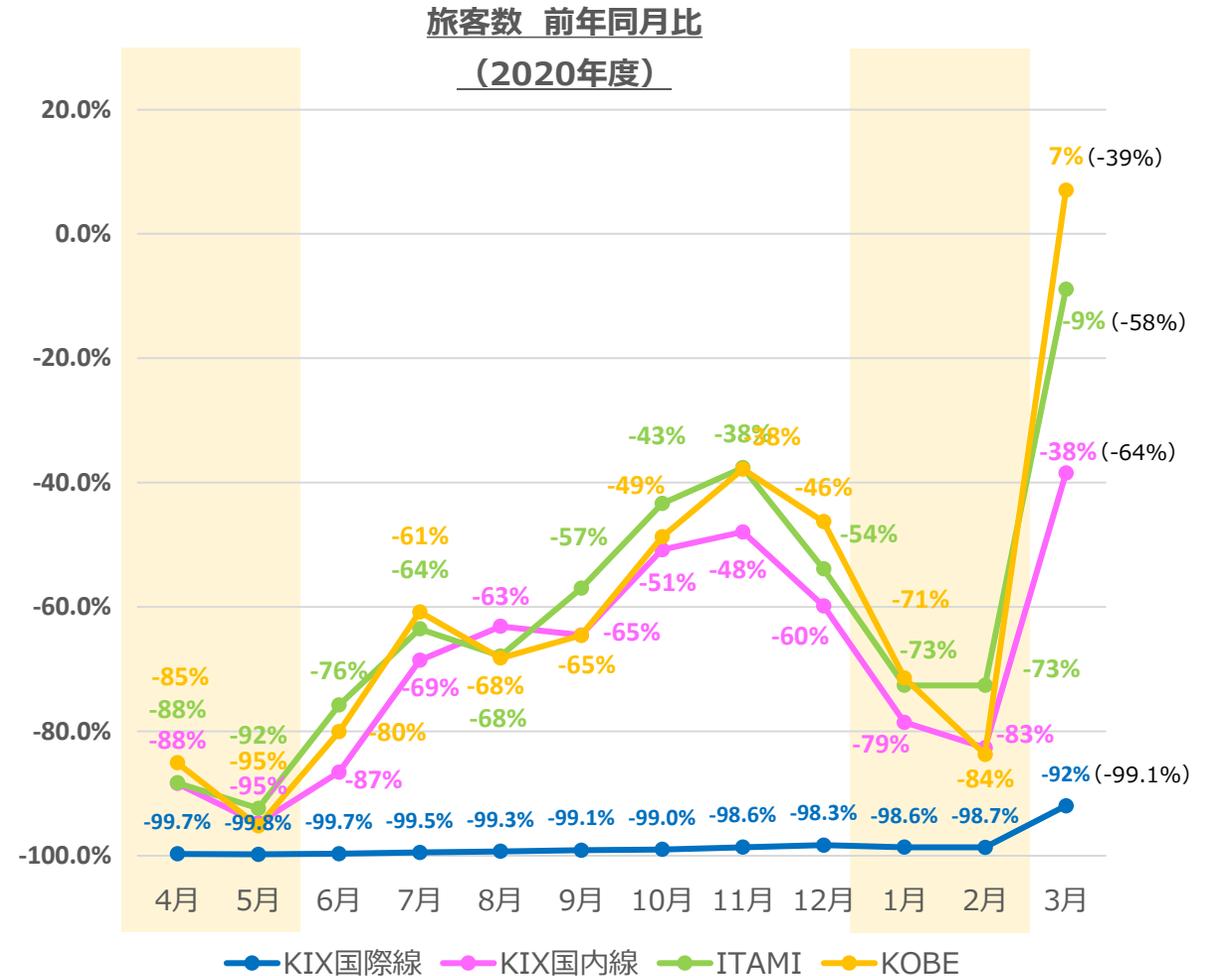
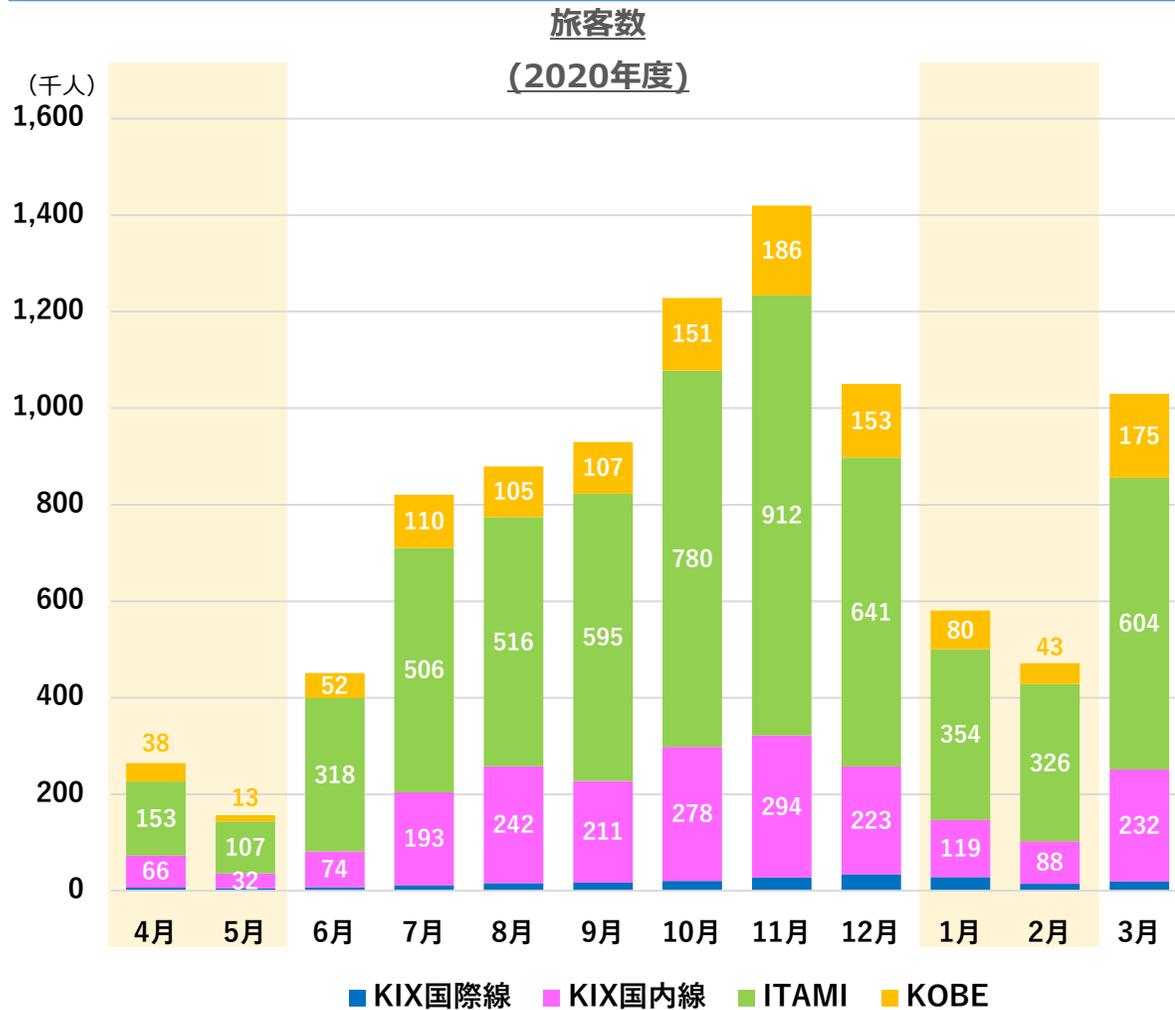
## 国際旅客便 方面別発着回数



\*国際旅客便には、貨物輸送を目的とする運航が一部含まれる

\* は、関西圏での緊急事態宣言発令期間を含む月

# 【航空系】 関西3空港 旅客数



# 【航空系】2020年夏スケジュール以降の路線拡大（2021年夏スケジュール公表分まで）

フジドリームエアラインズ  
2020/3/29  
神戸 = 青森



スカイマーク  
2020/10/25  
神戸 = 下地島



フジドリームエアラインズ  
2021/3/28  
神戸 = 花巻



Peach  
2021/7/1（予定）  
関西 = 女満別



ルフトハンザ・カーゴ  
2020/10/28  
新機材 B777F 導入



スターラックス(星宇)航空  
2020/12/15  
関西 = 台北



日本トランスオーシャン航空  
2021/4/29  
関西 = 宮古

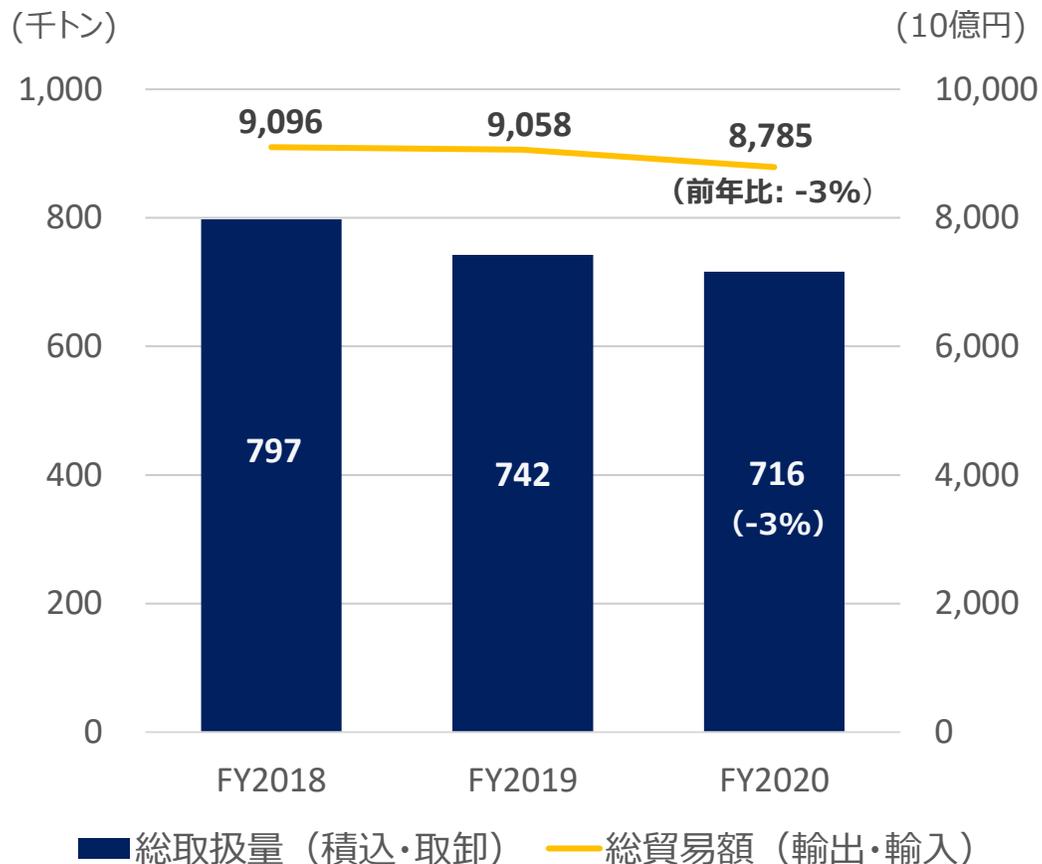


2020年度は旅客機貨物便が増加



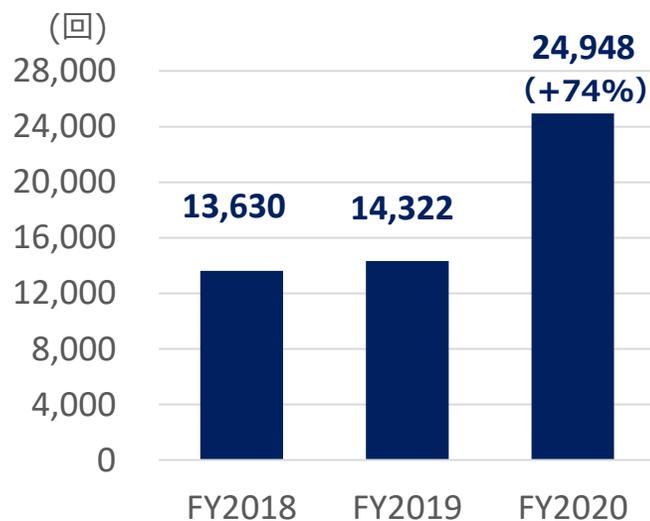
# 【国際貨物】 発着回数・貨物量・貿易額

## KIX/貨物量・貿易額

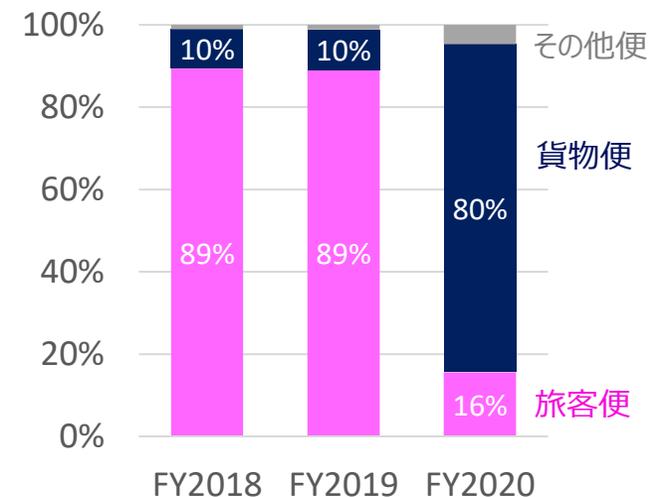


- ✧ 旅客便の運休で旅客機搭載の貨物輸送が急減、貨物輸送力確保のため貨物便・旅客機利用の貨物便の発着回数が増加、貨物便の発着回数としては開港以来最大になった。
- ✧ コロナ禍でも好調なEコマースを背景に、杭州圓通・順豊といった中国小口貨物集配企業グループの貨物航空会社が多く運航、FedExも大幅に増便。

## KIX/貨物便発着回数

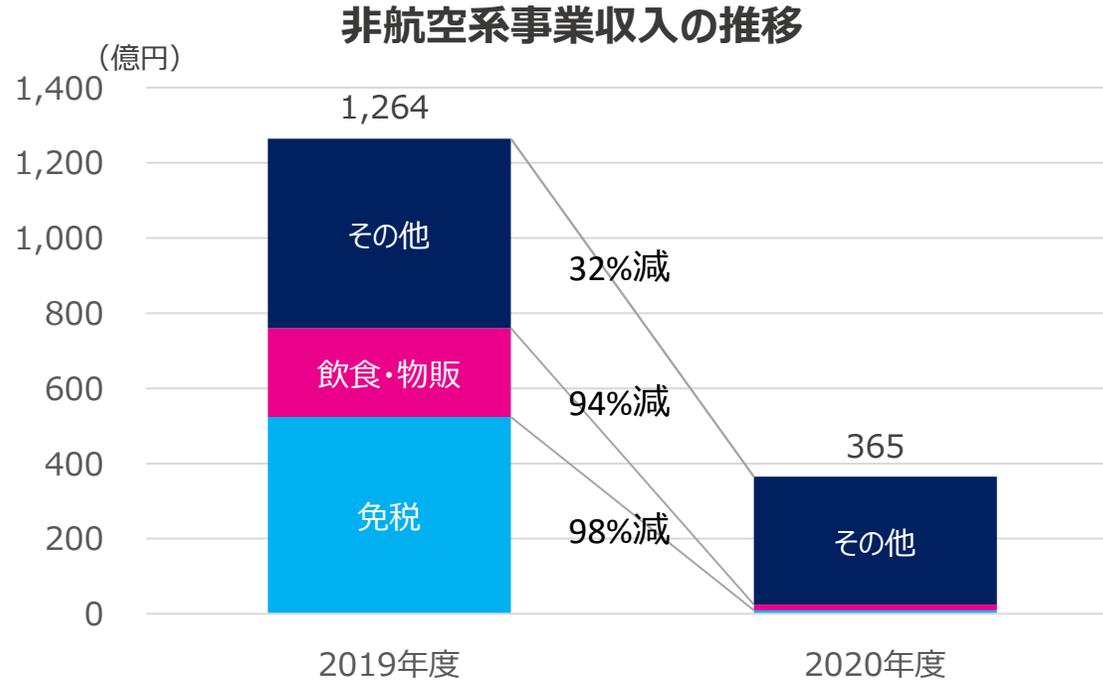


## KIX/国際線発着回数シェア



## 【非航空系】 新型コロナウイルスの影響により年度収入は前年比大幅減

- 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、航空旅客数の大幅減少により2020年度の非航空系事業収入は前年比-899億円(-71%)と大幅に減少した。
- 困難な状況の下、商業エリアの安全な環境づくりに努めた。





# 2020年度の取り組み

# 2020年度の取り組み

## 3空港

- 3空港で新型コロナウイルス感染症対策を実施
- 公式キャラクター「そらやん」が、LINEスタンプ初登場（8/5）
- 3空港で医療従事者への感謝を込めた「LIGHT IT BLUE」に参加（9/17）
- 3空港で2020「空の日」リレーメッセージ動画配信（9/20）
- 公式キャラクター「そらやん」初のオンライングリーティングを開催（2/14）
- 温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた長期目標を設定（3/5）

## KIX

- スカイトラックスの国際空港評価3部門で1位を受賞（5/14）
- 国際線出発口に「自動化ゲート」を設置（7/27）
- 手荷物カートのUVC(紫外線)除菌 及び 電子タグを用いた除菌情報送付の実証実験を実施（12/11）
- 「CEIV Pharma」の2回目となる認証取得を開始（12/14）
- 「KIX DUTY FREE 本館中央店」がオープン（12/18）
- 「ISHIYA」がオープン（12/18）
- 新型コロナウイルス感染症ワクチンの取扱いに関するタスクフォースを立ち上げ（12/21）
- 「LOEWE」がオープン（1/7）
- KIXワクチン輸送タスクフォースが新型コロナウイルス感染症ワクチンの輸送体制を構築（1/28）
- 文化庁主催の文化発信プロジェクトとして8人のマンガ家による作品を展示（3/20）
- 新型コロナウイルス感染症対策として抗ウイルス性防汚コートを施工（3/26）



新型コロナウイルス感染症対策



温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた長期目標



ワクチンの輸送体制を構築

# 2020年度の取り組み

## ITAMI

- 駐車場・モノレール駅舎直結のアクセスデッキオープン（6/26）
- 長距離バス待合室がオープン（7/1）
- レンタルバイク専門店「レンタル819」がオープン（8/1）
- 大阪国際空港ターミナル改修プロジェクト グランドオープン（8/5）
- 「ITAMI空の市」を開催（11/23）
- ウィンターイルミネーションを開催（12/5）



大阪国際空港ターミナル改修プロジェクト グランドオープン

## KOBE

- ウィンターイルミネーションを開催（12/5）
- 開港15周年記念プレゼントキャンペーンを開催（2/22）
- 「就航エアライン5社お見送りイベント」を開催（3/19）
- 「開港15周年記念イベント」を開催（3/20-21）



神戸空港お見送りイベント



15周年記念 空港場内バスツアー